

2020

6

とやま



第55回通常総代会

5月23日(土)午後1時30分
富山市農業協同組合
3階大会議室



6・7月 税務相談日(本店2階)

6/25(木)・7/10(金)・7/27(月)
各 PM1:00~PM3:00

目次

- ・第55回通常総代会開催 …… 2
- ・第55回通常総代会
付議議案 …… 3
- ・第55回通常総代会
関係Q & A …… 4~5
- ・夏のうきうきキャンペーン、
レジ袋有料化ご案内 …… 6
- ・JA自動車共済キャンペーン …… 7

第55回 通常総代会開催



一方、当農協を含めた富山市内の同一行政区内4農協（おおは農協、なのはな農協、山田村農協、富山市農協）においては、かねてから合併に向けた勉強会や研究会を開催していましたが、昨年10月からは当農協の旧熊野支所二階に「合併研究会事務局」を設置し、それぞれの農協から職員を派遣しております。現在、営農経済、金融共済、総務管理などの部門単位で組織された幹事会を開催し、各課題を洗い出す調査・研究を進めているところであります。

第55回通常総代会が、5月23日（土）午後1時30分から富山市農協3階大会議室において、総代定数500名のうち本人出席38名、議決権行使書425名、計463名の出席にて開催されました。議長に山室地区総代 山本征隆氏を選任後、議事に入り付議議案を慎重に審議いただきました。第1号議案から第11号議案及び特別決議まで賛成多数で可決・承認され、午後3時37分に終了いたしました。

本日の通常総代会は「コロナ禍」の中の開催となりましたが、ご出席いただきました総代各位には、何かとご多忙の折、ご出席を賜り誠にありがとうございました。また、多くの書面による議決権行使をいただいた総代各位にも、より感謝申し上げます。加えまして、5月18日と19日に予定してしました総代会事前説明会も、中止させていただきましたことについてお詫び申し上げます、ご理解を賜りたいと思います。

併せて、平素は、農協事業全般にわたり格別のご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして、改めてお礼を申し上げます。

おかげをもちまして、本日、ここに第55回通常総代会を開催する運びとなり、昨年度（第54年度）の業務報告ならびに今年度（第55年度）の事業計画等の重要議案の多くを上程できますことを重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年5月より新元号「令和」へ改元となり、新しい時代の幕開けの中、当農協の役員選出におきましても「認定農業者」や「女性理事」の選任を行い、多様な意思決定が出来る体制を整えました。併せて、「公認会計士」による監査体制へ移行し、リスク低減と透明性の確保を図ったことです。

その結果につきましては、事業の改善と経費節減に取り組んだ結果、税引前当期利益は、当該事業計画から37,790千円を上回る104,978千円を計上し、また財務面では、自己資本比率18.73%という健全値を確保することができました。このことは、組合員の皆様の変わらぬご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、農業・農協をめぐる情勢としましては、農業就業者の高齢化と世代交代等により「土地持ち非農家」の増加等、農業者の減少から農業基盤の弱体化が急速に進んでいます。また、お米では本県の「富富富」をはじめとする新品種のデビューにより、全国的に「新品種の戦国時代」とも称され、

産地間競争がさらに激化しています。

一方、信用事業では、マイナス金利による利鞘の縮小、共済事業では、共済保有高の減少、購買事業では、他業態との競争激化を受け、農協をとりまく経営環境は、厳しい状況が続いています。

このような経営環境の中、JA自己改革の実践、そして、本総代会の最後に予定している特別決議にある「准組合員利用規制」にかかる問題については、さらなる対応強化が求められています。加えて、当農協では昨年度策定した中期経営3ヶ年計画（令和元年度から令和3年度）を着実に実践してまいり所存です。

当農協の昨年度の重要報告事項としましては、遊休資産（旧支所土地・建物等）の処分を進めて得た資金を組合員が利用する施設等の修繕に積極的に投下させていただきました。昨年度は、一昨年に旧山室支所を売却した売却益にて、中部ライスセンターの湿式集塵装置の更新工事に充てさせていただきました。

また、本年度の重要事項の一つに、農業就業人口の減少や益々増えるであろう「土地持ち非農家」に対応するため、当農協の子会社である「ジェイエーとやまサービス」の充実・強化のため、職員の補充を図ったところです。早急に大幅な職員増は難しいですが、計画的な増員及び機械施設の整備を図りたいと考えています。また、近い将来に備え「ジェイエーとやまサービス」において「ドローン等のスマート農業」を活用したコスト低減技術の調査・実証を行いたいと思っております。

加えて、3年前にオープンしました「まんなか市場」は、まだ十分な採算ベースとは言えませんが、お陰様で、年々売り上げも伸び、また、運営に協力いただいている直売会の会員も平成29年の発足時の60名から現在は165名となっていることから、売り場面積の増床を計画しているところです。

隣県である石川県では、3JA構想、新潟県では5JA構想を打ち立て協議と研究を行っているようです。また、今年4月には、福井県内10JA合併による「福井県農協」という巨大農協が誕生しており、組合員も10万3千人と聞いています。今後、一県一農協をはじめとする広域合併を調査検討している県が多いと聞いているところです。いずれにいたしましても、合併による組合員のサービス向上が最重要課題であり、慎重に進めていく所存です。

なお、書面による議決権行使書の提出に伴い頂戴しました「質問・ご意見」また、本日はいただきましたご意見等については、農協だより等を通じて誠心誠意回答させていただきます。皆様方からお寄せいただきました貴重なご意見・励ましに感謝申し上げます。

結びになりますが、今回の「総代会」は新型「コロナウイルス」感染拡大を受けて、多数の「書面」による議決権行使を反映させたものとなりました。

今後、未曾有の新型「コロナウイルス」の影響等によって内外の消費が大きく落ち込むことが予想され、1000年に一度とも称される「コロナ大恐慌」の中、農業においてもその影響が危惧されるところです。しかし、今こそ農協の「総合事業体」としての強みを生かし、地域の「農業と暮らし」を支えるという使命のもとに、これからも不撓の自己改革に地道に取り組みしてまいります。

そのためには、これまで以上に役員が一丸となった「ワンチーム」として、厳しい経済環境や農業情勢の中、「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向け挑戦していくことで組合員はじめ地域の皆様の負託に応えたいと存じます。

総代各位におかれましては、今まで以上に力強いご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、今後益々のご繁栄とご健勝、ご多幸をご祈念申し上げて、挨拶とさせていただきます。

第55回 通常総代会付議議案

- 第1号議案** 第54年度事業報告及び剰余金処分案承認の件
＜報告事項1＞ 第54年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の件
第54年度部門別損益計算書の件
- 第2号議案** 定款一部変更の件
附帯決議
行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
- 第3号議案** 定款附属書 総代選挙規程一部変更の件
附帯決議
行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
- 第4号議案** 規約一部変更の件
- 第5号議案** 農地利用集積円滑化事業規程廃止の件
廃止理由
「農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部を改正する法律」に伴い、当該規程を廃止する。
- 第6号議案** 農業経営受託規程一部変更の件
- 第7号議案** 信用事業規程一部変更の件
附帯決議
行政庁の指示により字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
- 第8号議案** 第55年度事業計画設定の件
但し、経済情勢の変化などにより事業計画の内容を一部修正する必要があるときは、これを理事会に一任する。
- 第9号議案** 第55年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法決定の件
1. 賦課金の総額 2,627,300円
2. 賦課方法
令和2年6月末現在において賦課するものとし、その賦課基準は次による。
(1)組合員割 200円（1人当り）
(2)面積割 100円（10a当り）
3. 徴収時期 令和2年10月31日までに全額徴収する。
4. 徴収方法 徴収の最終期日までに納入されないときは、その期日をもってこの組合の貯金口座から振替決済の方法による。
- 第10号議案** 第55年度における理事の報酬に関する件
第55年度における理事の報酬は総額20,600千円以内とし、その範囲内における各理事の報酬額並びに支給方法などは理事会に一任する。
- 第11号議案** 第55年度における監事の報酬に関する件
第55年度における監事の報酬は総額5,400千円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額並びに支給方法などは監事の協議に一任する。

全ての議案において賛成多数で承認されました。



第55回 通常総代会

事前に寄せられた総代の皆様からの質問及び回答

総代の皆様から数多くのご質問・ご意見をいただいた中から、一部をご紹介します、回答させていただきます。
なお、ご紹介させていただく質問等におきましては、通常総代会にて質疑応答の取り扱いをさせていただきます。

経 営

Q

事業外収益の内、受取出資配当金において令和元年度は、平成30年度と比較するとかなり増加していますが、増加の内訳をお聞かせ下さい。

A

農林中金への後配出資金は、増資5億1,698万円を行い、計25億7,000万円となっています。出資配当率が前年の0.1%から1.3%に引き上げられ、出資配当金が前年実績比で3,135万円増えた結果であります。

Q

農林中央金庫への出資金残高において期首残高から2割増となっていますが、増資した趣旨をお聞かせ下さい。農林中央金庫は、ハイリスクな投資をしているとの情報も聞こえてきます。

A

マイナス金利政策の下、農林中金は、JAへ安定的・持続的に還元することを目的に、自己資本の質・量を確保するために、全国のJAに増資（約5,600億円）を要望し、JA富山市（5億1,698万円）が応じたものであります。
なお、農林中央金庫が運用しているローン担保証券は、AAA格付けで問題ないものと思われま。

Q

昨年立ち上げた富山市4JA合併研究会の進捗状況をお聞かせ下さい。併せて今後の方向性と課題及び進め方についてもお聞かせ下さい。

A

現在、当組合は、富山市内JA合併研究会に参加しており、昨年10月に当組合旧熊野支所2階に研究会事務局を開設し、職員を派遣しています。合併研究会は、合併を前提に発足しているものではなく、現在、4農協の財務状況・運営体制等の洗い出し作業を行っている段階であります。仮に合併する場合は、理事会での組織決定をふまえ合併推進協議会へ参加することになりますが、その時期及び内容については、現在、未定です。合併により当組合の発展が明らかであると認められる場合は、臨時総代会を開催し、組合員皆様の承認が必要となります。従いまして、合併にて「何をしたいのか」、「何ができるのか」を4農協にて共通認識とする必要がありますが、現在は、調整段階であります。

Q

事業外収益における受取出資配当金では、令和元年度計画42,700千円に対し実績は、72,224千円と躍進していますが、その要因と今後の動向・活用についてお聞かせ下さい。

A

要因は、後配出資金の配当率が引き上げられたものがあります（計画比2,952万円増）。今後の動向は預金利息・奨励金の低下（▲0.05%/年）や金融機関貸付利息の低迷が続くと思われるので、活用はリスク管理に3,000万円を積み立て、金融リスクに備えております。

Q

外部出資による損失発生に備え、リスク管理積立金370百万円を計上していますが、その内、農林中央金庫に対する積立金額はどの程度なのかお聞かせ下さい。

A

積立目的と取崩基準につきましては、総代会資料に掲載していますので、ご確認願います。なお、農林中金に限定せず、出資金・固定資産などの償却・引当・処分や農林年金の損失、米価の変動などに備えています。

Q

富山市内4JAの合併について研究中とのことですが、合併後の姿（ビジョン）等を提示していただけませんか。

A

合併後の姿「ビジョン」につきましては、行政で作成している富山市農業農村振興計画との擦り合わせを行うと共に県外合併農協の先進事例を調査しております。本合併については、農協の活動区域と富山市行政区が、一致するという点が大きな特徴であります。合併方式は、1農協を存続する農協とし、その農協の定款に一部修正を加えていく『定款変更』方式による対等合併を検討しております。さらに、役員数を現在から半数程度に削減する等、人件費の削減も検討しております。また、新農協の名称を富山市農協、本店を当農協に置くなどで研究を進めております。いずれにしても重要事項は、合併推進協議会で決定することになります。新型コロナウイルス禍により研究活動は、大きく進展していませんが、今後、より一層、研究を深めていくこととなります。



各事業

Q

営農組合（みなし法人）において農機具、格納庫、乾燥施設の改築等を計画する際、利用できる金銭補助等の助言・指導をいただきたい。

A

国庫補助等の申請支援・購入資金借入申請支援など、ニーズに対応した相談機能の充実に努めて参ります。

Q

第55年度事業方針の指導事業において農業・農村の活性化に対する重点項目の中に生産者の意見を取り入れた農業振興施策の実施を計画していますが、具体的な事業内容があればお聞かせ下さい。

A

近年の具体例としては座談会で要望のあったドローンの講習会の実施及び免許取得の支援や大型特殊免許の取得支援などを実施させて頂きました。また昨年要望のあった土壌分析に係る費用助成制度についても令和2年度から実施させて頂きます。

Q

第55年度事業方針の指導事業において農産物の生産・販売強化に対する施策として「ゆうだい21」の取組み強化を計画していますが、組合員へのPR方法と2020年の作付面積状況についてお聞かせ下さい。

A

PR方法としては、春期座談会での生産推進を行うと共に本年2月に「ゆうだい21」生産推進大会を開催しており、2020年度の作付面積状況は、100ヘクタールであり、概ね目標を達成しています。

また、今年度より専用の稲作情報誌を作成し、生産者にご案内する予定です。

Q

子会社 有限会社ジェイエーとやまサービスにおける営業外収益として令和元年度実績で10,040千円、令和2年度計画で12,400千円を見込んでいますが、内容についてお聞かせ下さい。

A

水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金などの補助金を営業外収益として計上していますので、ご理解賜ります。

Q

子会社 有限会社ジェイエーとやまサービスの事業拡大・増強として人材補強、受託作業の拡大等を重点的に取組んでいただきたい。

A

子会社の受託能力拡充を図るとともに、地区農業者協議会等と連携し農地の受託体制強化に努めます。

Q

近隣農協では、大豆と大麦の価格情報を広報誌等で案内していますので、同様の取組みをお願いします。

A

農協日より等広報紙にてご案内致します。

Q

その他事業におけるその他事業収益では、令和元年度計画3,200千円に対し実績は、11,546千円と躍進していますが、その要因と今後の展開についてお聞かせ下さい。

A

収益増の要因はまんなか市場（直売所）の売上増によるものです。市場仕入れの農産物や業者仕入れの加工品等の売上による収益です。今後も品揃えの充実を図り、売上の拡大及び顧客満足度の向上に努めて参ります。

Q

第55年度事業方針の指導事業において農業・農村の活性化に対する重点項目の中に担い手経営体の育成・支援の強化を計画していますが、2020年度目標数値の達成進度をお聞かせ下さい。

A

農業振興計画に基づく目標と実績についてお答えさせていただきます。

青年等新規就農	2020年目標 3 経営体	2019年実績 3 経営体
認定農業者	2020年目標75経営体	2019年実績68経営体
営農組織（共同）	2020年目標 5 経営体	2019年実績 5 経営体
営農組織（協業）	2020年目標10経営体	2019年実績 9 経営体
営農組織（法人）	2020年目標11経営体	2019年実績11経営体

Q

まんなか市場は、今後、どのように販売拡大していくのでしょうか。店舗面積が、狭いことから増床する計画とのことですが、計画内容をお聞かせ下さい。

A

既存の店舗裏の駐車スペースに新たな店舗を増床し、売場面積の拡大を図り、品揃えの充実による売上拡大を図ります。併せて更なる農産物の生産拡大にも努めて参る所存です。

Q

第55年度事業方針の指導事業において農業・農村の活性化に対する施策として認定農業者制度により担い手農家の増、協業化、営農組合の法人化への取組みを強力に進めていただきたい。

A

農協として各地区の人・農地プランの実質化に向けた取組を強化し、地域の実情に応じた担い手の育成に積極的に取組んで参る所存です。

Q

「富富富」の生産・販売面において富山市農協による助成支援金等があればお聞かせ下さい。

A

当農協での支援制度は設定しておりませんが、富山県での補助制度として、地域協議会での技術向上やPRIに係る支援事業（補助上限300千円）と生産者に対して作付拡大に係る支援事業（3千円以内/10a）があります。

夏のうきうき キャンペーン!

お問い合わせは
お近くの
JA農機
センターへ

【キャンペーン期間】

2020 7月1日^水 ~ 8月31日^月

Wチャンス!

※応募締切り9月4日(金)まで

期間中に対象メーカー(やまびこ・丸山・アサバ・マキタ)の製品を1万円以上ご契約のお客様に記念品を進呈!

さらに! 3万円以上の製品をご契約のお客様に応募用紙をお渡しいたします。ご応募いただいた方の中から

抽選で100名様に
富山県産和牛ロース肉(焼肉用)400g
またはグルメギフトを**プレゼント!!**

対象メーカー ※一部対象外の商品がございます。



●応募用紙に必要事項をご記入のうえ、お近くのJA農機センターまでお持ちください。
※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※本キャンペーンは、景品表示法に基づき実施します。

JA富山市 機械センター TEL : 076-429-7922 FAX : 076-429-7933

2020年7月1日より

レジ袋が

有料化

とまります。

レジ袋削減にご協力ください

考えよう、

持ち歩こう、

守ろう、



地球のこと。

エコバッグ。

未来を。

レジ袋削減が 環境問題解決の一步に。

JAの自動車共済は 安心とお得がいっぱい!!



【キャンペーン期間】

前期: 令和2年4月1日
～令和2年8月31日
後期: 令和2年9月1日
～令和3年1月31日



安心の充実保障 「ご自身・家族・くるま・相手」へ幅広く手厚い保障。



頼れる各種サービス 24時間365日、夜間休日の対応可能。
※1.



お得な掛金割引 ご契約条件や無事故割引等に応じた掛金設定。
※2. ※1.サービスのご利用にあたっては一定の条件があります。
※2.割引には一定の条件があります。

さらにいまなら…

自動車共済のお見積りをいただいた方に

当 JA 燃料センターでお使いいただける

チケット1,000円分をプレゼント♪

※有効期限はチケットに記載しております。



各期先着 200セットなんだワ

スーパー農道沿いにある燃料センター!
毎週水曜日はレディース DAY
金土日はお得な割引があります!



※本キャンペーンでご提供いただいた個人情報は、JAおよびJA共済連の事業およびガソリン・洗車等でご利用ください。
各種サービスのご提供・ご案内・充実等以外の目的には利用いたしません。また、JA共済は「個人情報保護方針」を定め、個人情報の保護に努めております。

詳しくはお近くのJA富山市各支店にお問い合わせください。

南支店 ☎ 428-1122 中央支店 ☎ 425-2888

【20182200059】

理事会だより

第1回定例理事会次第

と き 令和2年3月31日(火)
午後1時30分
ところ 本店会議室

協議事項

- 1) 定款等の一部変更(案)について
- 2) 信用事業規程の一部変更(案)について
- 3) 第55回通常総代会及び事前説明会開催について
- 4) 第55回通常総代会付議議案(案)について
- 5) 第55年度事業計画設定(案)について
- 6) ㈲ジェイエーとやまサービス決算及び事業計画(案)について
- 7) 第55年度における余裕金の運用について
- 8) 第55年度における同一人に対する信用供与の最高限度額決定について
- 9) 第55年度借入金の最高限度額決定について
- 10) 経済事業にかかる理事との契約について
- 11) 職制規程の一部改正(案)について
- 12) 特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について
- 13) 臨時備員就業規則の一部変更(案)について
- 14) 農業融資要項及びローン融資要項の一部改正(案)について

- 15) 信用事業手数料の変更(案)について
- 16) 令和2年度地域農業振興支援事業(案)について
- 17) 固定資産取得(案)について
①東部ライスセンター自主検査装置更新工事について
②まんなか市場増床計画について
- 18) 労働組合要求について

第2回定例理事会次第

と き 令和2年4月28日(火)
午後1時30分
ところ 本店会議室

協議事項

- 1) 令和元年度決算について
- 2) 自己資本比率について
- 3) 第55回通常総代会事前説明会の中止及び第55回通常総代会の運営(案)について
- 4) 第55回通常総代会議長の選任(案)について
- 5) 第55回通常総代会特別決議(案)について
- 6) 会計監査人の報酬等について
- 7) 農地利用集積円滑化事業規程廃止における附則の修正(案)について
- 8) 令和2年産米出荷契約金の資金対応(案)について

職員人事異動

退職(令和二年三月三十一日付)

区分	氏名	旧任	新任
定年退職(再雇用)	前田 一美	中央支店 副支店長	
定年退職(再雇用)	松本 厚美	企画総務部 課長代理	
定年退職(再雇用)	福村 聡	営業経済部 購買課 燃料センター長	
定年退職(再雇用)	高柳 寿	営業経済部 購買課 燃料センター長	
依願退職	小林 正人	南支店 営業係	
雇用契約満了	高畑 廣	臨時備員 中央支店 営業係	

職員人事(令和二年四月一日付)

区分	氏名	旧任	新任
理事兼金融共済部長	中野雄一郎	理事兼金融共済部長	
企画総務部 部長	高谷 重昭	企画総務部 部長(兼)監査室 室長	
企画総務部 課長	田近 智久	中央支店 支店長	
中央支店 支店長	田中 到	金融共済部 課長	
金融共済部 課長	安守 孝夫	南支店 支店長代理 共済担当	
中央支店 副支店長	小林 弘幸	中央支店 支店長代理 共済担当	
監査室 監査係長(監事付)	松井 成宏	中央支店 支店長代理 共済担当	
企画総務部 課長代理	中村 早苗	企画総務部 係長	
企画総務部 課長代理	渡辺 里香	南支店 営業係	
金融共済部 金融課 課長代理	田村 静	金融共済部 課長代理	
金融共済部 金融課	野原 和代	中央支店 共済外係(兼)係長	
課長代理(種子統括)	武川 直樹	南支店 支店長代理 共済外係(兼)営業経済部 購買課 係長	
営業経済部 購買課 課長代理	新田 誠	営業経済部 購買課 物流センター長	

左記のとおり職員人事をおこないましたのでご案内申し上げます。

新規採用(令和二年四月一日付)

区分	氏名	旧任	新任
臨時備員(嘱託)	川島 美奈	中央支店 経済窓口係	
臨時備員(嘱託)	境野可南子	中央支店 共済窓口係	
臨時備員(嘱託)	吉田 知世	中央支店 共済窓口係	
臨時備員(嘱託)	林 亮太郎	中央支店 共済窓口係	
臨時備員(嘱託)	高木 政長	臨時備員(嘱託) 監査室	

退職(令和二年四月三十日付)

区分	氏名	旧任	新任
依願退職	清水 崇	営業経済部 購買課 燃料センター	
臨時備員(嘱託)	高柳 寿	営業経済部 購買課 物流センター	
臨時備員(嘱託)	福村 聡	燃料センター	
臨時備員(嘱託)	前田 一美	経済窓口係	

退職(令和二年五月三十一日付)

区分	氏名	旧任	新任
依願退職	林 博之	営業経済部 購買課 農業自動車課 課長代理	

職員人事(令和二年六月一日付)

区分	氏名	旧任	新任
新 任	小林 弘幸		中央支店 副支店長
新 任	中村 早苗		中央支店 副支店長



生産者の皆様を応援する営業係をご紹介します。

営業担当者	南支店管内				中央支店管内			
	太田 卓矢	新保 砂原悠宇樹	熊野 久次	月岡 柁人	蜷川 横井 祥子	堀川 林 亮太郎	山室 村井 建也	
	江尻 卓矢	砂原悠宇樹	久次 柁人	宮島 健二	横井 祥子	林 亮太郎	村井 建也	